



■発行/櫻井しげる後援会 ■住所/315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28  
 ■電話/自宅 0299-22-3881 ■FAX/0299-22-3881 ■携帯 080-3150-8451  
 ■WEB <http://www.sakurai.click/> ■E-Mail [sakurai@sakurai.click](mailto:sakurai@sakurai.click)  
 ■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3> **討議資料**



令和4年も残すところ一月余り。石岡市議会議員としての活動も7年半となりました。議員活動をご支援いただいている皆様に市政の何をどのようにお知らせするか、悩みながらも、事実を即した記事構成に配慮し、気が付けば活動報告は30号を迎えました。活動報告掲載記事の一般質問は、市政の課題や取組を明らかにすることで、改善や事業推進の後押しとなることを期待する側面もあります。ふるさと石岡の活力を取り戻し、「輝く未来を子どもたちへ」の実現に向けて、議員活動に取り組んでまいります。

寒さが厳しくなる季節、どうぞご自愛ください。令和5年もご支援よろしく申し上げます。

一. マイナンバーカード

(1) マイナンバーカード制度の目的と効果

マイナンバーカードの取得と利用促進に政府が力を入れていきます。行政の効率化、国民の利便性向上、公平・公正な社会の実現が目的です。社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関が保有する個人情報と同じ人の情報と確認するために活用されます。

(2) マイナンバーカードのメリット

マイナンバーカードは顔写真が表示されているため、自分を証明するカードになります。また各種証明書をコンビニで取得する事が可能となります。さらに各種行政手続きはオンラインで申請可能となります。そしてプライバシー性の高い個人情報情報はカードに記録されていない事から安全性が高いと言われています。

政府は、医療機関窓口でマイナンバーカードを健康保険証として使う方針を固めており、令和6年秋には現行の保険証が廃止されます。

(3) マイナポイント申請しましょう

マイナンバーカードの取得促進を図るため、マイナポイントが貰えるキャンペーンを実施中です。

令和4年12月末日までにマイナンバーカードを取得し、保険証の利用登録、公金受取口座登録で最大2万円分が貰えます。この機会にマイナンバーカードの取得、ポイントの申請をしましょう。

マイナポイントキャンペーン

- ①マイナンバーカード取得 (最大5,000円分)
    - ・カードとキャッシュレス決済をひも付ける
  - ②保険証の利用登録 (7,500円分)
    - ・ポイント付与の申請を行う
  - ③公金受取口座の登録 (7,500円分)
    - ・ポイント付与の申請を行う
- ①+②+③=20,000円分が貰えます。  
 カードを取得済みの方は  
 ②と③の申請手続きで15,000円分が貰えます。

一. 買い物支援実証事業

(1) 週5日で移動販売

集落や市街地の人口減少と高齢化等により、地域の食料品店やスーパーマーケットが姿を消して久しい中、日常の食料品等の買い物に支障をきたす「買い物困難者」あるいは「買い物弱者」が増え、社会問題となつていっています。石岡市内でも例外では無く、問題解決に向けて予算200万円を確保し、実証事業が開始されました。

車に食料品等を積載し、市内44か所で移動販売する実証事業が10月3日から開始しています。

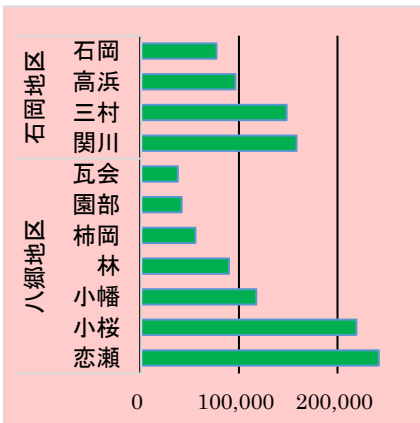
委託先は(株)カスミで、拠点店舗はピアステイ石岡中央店となります。価格は、販売店舗と同じ価格(販売手数料なし)となります。

月曜から金曜の昼間、市内各地区の公民館等44か所で巡回移動販売を行っています。1か所約15分程度の販売時間を予定しており、店舗で取り扱っている商品を現地で予約すると次回受け取る事が可能となるサービスも用意されています。

(2) 移動販売10月の実績

移動販売が始まってひと月。10月の販売実績は延べ983名の利用者があり、売上げが大きいのは恋瀬地区約24万円、小桜地区約21万円でした。

今後、移動販売の充実により利便性が地域の方々に浸透し、利用者と売り上げが伸びていくことで、委託料の削減につながることを期待したいと思います。



### 三、第3回定例会で行った一般質問

#### (1) 複合文化施設整備事業の進め方について

複合文化施設は、石岡市の総合力が発揮されて初めて市民も納得する施設が完成すると信じています。しかし、建設地検討結果報告書には恣意的な評価・記載があり、複合化する施設選定も疑問な点が多々あります。事業の進め方が適切であるか質問します。

(1) 複合化の目的と効果について伺う。

**担当理事答弁要旨** 石岡市公共施設管理計画に基づき複合化の検討を行い、施設機能の向上、施設間の相乗効果や利便性の向上等を期待している。多世代にわたり多くの市民の利用と市民サービスの充実に重点を置いて整理をした。

**再質問** 公共施設管理計画における目的の一つは経費削減となっている。維持管理経費の増加理由として図書館の開館時間を延長するとしているが、億を超える経費に釣り合う具体的な根拠を示していたきたい。

**担当理事答弁要旨** 文科省の社会教育調査では、21時以降に閉館する図書館数が平成4年度25館、29年度135館との比較は5.4倍になっており、開館時間を延長し市民サービスの向上を図りたい。  
**教育部長答弁要旨** ニーズ調査はしていないが、利用者から延長の声をいただいている。

**提言** 平成29年の全国の図書館数は3319館。増加した110館で割り返すと、25年間でたった3.3%の増加。午後9時以降に閉館する図書館135館の内52館、38.5%は東京23区内の眠らない街にあります。石岡で億に見合う利用者を見込めるか疑問です。

(2) 事業の遅延理由について伺う。

**担当理事答弁要旨** 事業手法や建設予定地等について、庁内における調整と合意形成に時間を要し、社会情勢の変化を受けて、供用開始時期を変更することになった。

(3) 複合化する施設構成について伺う。

**担当理事答弁要旨** 旧市民会館、子ども図書館を含む中央図書館、杉並ミニティーセンター、体育館を除く勤労青少年ホームとなっている。

**再質問** 敷地面積の狭い駅東地区ありきで検討をしたため複合化する施設数が限られ、施設保有量の最適化の効果が発揮できていない。老朽化が著しく、駐車場が狭い保健センターを除外した理由を伺う。

**担当理事答弁要旨** 保健センターは、高齢人口の増を見据えた場合、高齢福祉部門との連携強化を考慮する必要があり、複合文化施設のコンセプトである他市からの集客を図り、交流、賑わいを求める施設を目指す趣旨から複合化対象から外した。

**提言** 他市からの集客という答弁は、質問(1)と矛盾している。保健センターが複合対象になれば、検診等の際に健康づくりに関する書籍を見ることが可能となり、全年齢層で知識を養える機会を作れます。

(4) 建設地選定の手法について

**担当理事答弁要旨** 都市機能誘導区域内の市有地として、駅東地区とイベント広場を候補地とした。総合的に駅東地区が妥当と評価した。建設地検討結果報告書は、誤解を与えるような表現があったのかもしれない。統計や業務データなど証拠に基づき検討するのが基本であり、この原則で進めてまいりたい。

**再質問** 答弁に客観的なデータや証拠は示されていません。特別委員会では事業に対して懐疑的な質問と意見が続出している。強引に事業を進めるのか、それとも再検討もゼロではないのか伺う。

**市長答弁要旨** 市民から親しみを感じ、喜ばれる施設となるよう、議会と議論させていただき慎重に検討を重ね事業を進めたい。

**提言** 何の為に複合化なのか。原点に返ってコスト意識を持ち、何が最善か検討すべきだと思います。

#### (2) 商店街設置の街灯を守る対策について

解散を余儀なくされる商店会が増える中で、商店会等が設置した街灯の老朽化が進んでいます。市の対応について伺います。

(1) 商店会等設置街灯の把握状況について伺う。

**産業戦略部長答弁要旨** 石岡地区では、御幸通り商店街13基、香丸商店街38基、中町商店街12基、東地区商店街39基、金丸通り商業会32基、解散した守木町商店街10基、国分町商店街22基。八郷地区は商店会では無く個別の設置ですが25基、そのうち柿岡地区は97基となっている。

(2) 誰がどのように管理しているのか伺う。

**産業戦略部長答弁要旨** 活動している商店会では、原則商店会で管理し、解散している商店会では町会に移管しているものや個人で管理している。

(3) 維持管理支援の考えについて伺う。

**市長答弁要旨** 経年劣化の老朽化を認識している。安全を最優先に対応したい。街灯の維持については検討する場を設けたい。

#### (3) ナラ枯れ被害への対応について

石岡市では、どのようにナラ枯れ被害を把握し、被害防止対策に取り組んでいるのか質問します。

(1) ナラ枯れ被害の実態把握について伺う。

**産業戦略部長答弁要旨** 今年7月、つくばね森林組合から被害発生情報の提供があった。茨城県ナラ枯れ被害対策基本方針に基づき、林業技術センターと連携して調査を行っている。

(2) ナラ枯れ被害への対応について伺う。

**産業戦略部長答弁要旨** 市に管理責任が有る木の対応を検討している。

**市長答弁要旨** 特に八郷地区で多く見られている。市管理地での倒木の危険性がある場合には適切な措置を講じたい。民地の場合、所有者の責任だが木の処分を行っていただくよう措置を講じる。

#### 四. 複合文化施設補正予算案の提出

##### (1) 議案第81号を開会日に急遽提案

議案第81号補正予算が議会開会日に提案されました。内容は、複合文化施設の建設予定地である駅東地区の測量委託及び液状化不安に対する地質調査として約4千3百万円余を計上するものです。

議会の一般的な手続きでは、議会開会日の一週間前に市長が議案を告示し、議会に提出します。開会日の提出議案は、緊急性が求められますが、議案内容に緊急性は見当たりませんでした。

##### (2) 議案提出を受けた議会・議員の反応

一般質問及び議案質疑では、複合文化施設整備事業に関する執行部の答弁に一貫性と説得力が感じられない中で、議案第81号の「**否決**」が議員の間で現実的な話題として盛り上がる事になります。

一方で議員は、市長の提案を「**否決**」することに対してアレルギー的な気持ちもどこかに存在しており、施設建設が駅東地区でなくても、今後の為に地質調査は必要ではないか。といった**可決**に向けた助け舟的な解釈も議員間で話題に上りました。

##### (3) 会派内での議論

私は、新田茜議員、川井幸一議員の3名で会派、石翔会を結成し共に活動しています。

議案第81号に関する賛否については、会派統一とすることを前提に徹底的に議論を深めました。そうした中、議会が議案を否決する事を回避するため市長が、補正予算による「地質調査の結果をみて、建設地の変更も検討する」という柔軟な姿勢を示すようだ。との情報が飛び込みました。

議案の審査を行う特別委員会の審査において、市長が建設地や事業計画に対する議員の意見に耳を傾けるような柔軟な姿勢を表明するならば、石翔会は議案第81号に賛成する事を決定し、特別委員会に臨んだところです。

#### 五. 複合文化施設関係補正予算は否決

##### (1) 特別委員会冒頭の市長発言

議案第81号の審査を付託された複合文化施設建設特別委員会は、開会直後に市長が「委員から、ご指摘いただいた課題を再整理し、再検討を行う必要があると感じている。・・・」と発言。

この発言により、私たち石翔会メンバー3人は予定通り、議案に賛成するはずでしたが・・・

##### (2) 厳しい質問と意見に対して市長が本音を

私は念のため、賛成と思われる隣の議員に「賛成ですか」と聞くと「反対」。更に隣の政党議員も「私も反対」と回答。この時点における私の予測では、石翔会3名の賛成票を入れて**賛成9名、反対10名**で**特別委員会**は**否決**の見込みでした。

議員の「これまでに7回の特別委員会が開催されたが議論が尽くされていない」「補正予算で出すべき予算内容なのか」「測量は以前行われた図面も有り必要ない」「地質調査の必要性は素人の発案じゃないか」等々の発言に対して市長は、「調査をしてこの場所が安心であれば、ここに自信をもって複合文化施設を建てていきたい」と力強く**本音**を答弁。

一瞬の間を置き、議員席からどよめきが沸き起こり、激しいヤジが飛び交いました。

##### (3) 本会議での可否逆転は幻に

この市長の**本音**に私たちが会派は困惑することに。その後、議会に寄り添う市長発言は無く、石翔会3名は仕方なく反対票を入れました。同様に悩んだ議員も複数いたようで、特別委員会では、賛成4名、反対15名により否決に決しました。

一方、本会議では、賛成が1名増えて**5名、反対14名で否決**となりました。これは委員会では委員長が、本会議では議長が採決に加わらないために起きた現象です。仮に市長の**本音**が無ければ、委員会は否決でも本会議では可決だった可能性も？

#### 六. 決算特別委員会

##### (1) 決算状況について

石岡市の令和3年度収支は、約20億円の黒字となっています。監査委員の意見書から「財政の硬直化」という表現が無くなっている事から、財政状況は改善されつつあるのかと質問したところ、交付税の前倒し分が含まれており、今後も注意する必要があるとの答弁がされました。

##### (2) 決算は可決

市長の出席する総括審査において、問題と思われる次の3項目を質問しました。

公正職務審査会は、被害職員のパワハラ等の訴えに対して、弁護士3名の協議が結論まで1年以上経過しており、迅速な処理を求めました。

図書館文化アドバイザー報酬費が、職員との対面指導ではなく、電話のやりとりや都内での他者との協議に対し、必要書類を作成せずに支払ったことは、違法と指摘しました。

八郷運動公園プールは築44年で漏水が止まらず、2年間使用中止。早急に今後の方向性を決定するよう求めました。採決では、令和3年度決算は、賛成多数で「認定すべきもの」と決しました。

(単位：円)

区分	一般会計	特別会計	合計
歳入 決算額	35,532,913,077	16,155,572,086	51,688,458,163
歳出 決算額	33,562,581,169	15,603,198,536	49,165,779,705
歳入歳出差引残額	1,970,331,906	552,373,550	2,522,705,458
繰越しの財源	563,233,373	0	563,233,373
実質収支額	1,407,098,535	552,373,550	1,959,472,085

(単位：%：ポイント)

区分	H29年度	R3年度	増減
財政力指数	0.61	0.60	△0.01
実質収支比率	6.1	7.3	1.2
経常収支比率	90.8	84.5	△6.3
実質公債費比率	9.4	7.1	△2.3

## 七. 霞台厚生施設組合

### (1) 売電収入が大幅増

ゴミ処理を行う霞台厚生施設組合（石岡市・小美玉市・かすみがうら市・茨城町で構成）では、人口減少とごみの発生抑制や再使用、資源化の推進に伴い、安定的かつ効率的な廃棄物処理システムの構築を進めています。広域圏での一般廃棄物の排出動向を見据えて処理システムの強靱化を計画的に進めています。

定例議会（10月21日）が開催され、令和3年度決算が報告されました。

特に注目したのは歳入です。資源回収有価物の売払収入が、対予算比で約233%増、売電収入は約72%増となっています。ごみ焼却熱を利用した発電（日立造船の技術）は、計画に反対する方もいましたが、現状では市のごみ処理負担軽減に大きく寄与しています。

令和3年度	歳入科目	予算	決算	比較
	有価物売払	25,161	83,875	58,714
	売電収入	220,000	378,585	158,585

### (2) 排気ガスをメタンガスに変換

組合議会の先進地視察（11月7日・8日）を行い、ごみ処理技術の世界トップシェアを誇る日立造船（株）の最先端技術施設を視察しました。

1911年に発見されていたCO2をメタン化する方法（高温&高压）を改良、触媒利用（低コスト）で99%メタン化する実験プラントを見学し、実用化が近いと感じました。

排気ガスがメタンガスに変換され、各家庭で利用できるようになると、地球温暖化の抑制・改善に大きな効果を発揮するものと思われまます。



## 八. 県国民健康保険運営協議会

国民健康保険運営協議会主催の研修会「お口の健康教室」に参加しました。

定期健康診断により生活習慣病が見つかる割合は、平成3年では約27%弱、これが令和3年では約58%強と30年間で倍増しています。

### (1) 日本人の7割は歯周病

日本人の7割が生活習慣病の一つである歯周病になっており、その原因はプラーク（歯垢）。

このプラークを作る要因の一つに喫煙があります。たばこのニコチンは血管を収縮させ、歯ぐきの血流量が減少。十分な酸素や栄養をいきわたらせなくし、唾液の分泌量も抑えてしまう。これによりプラーク（歯垢）や歯石をつきやすくします。もちろん、喫煙していなくても、歯磨き（特に夜間）が十分でない方も同様です。

歯と歯茎の間からバイ菌が入って歯周病になると、菌が全身を巡りインシュリンの活動に障害を起し、糖尿病の原因になります。また、誤嚥により歯周病菌が気管支から肺に入ると誤嚥性肺炎になり命の危険が増すことに！

### (2) 義歯利用で認知症を抑制

歯周病が進むと歯肉が衰え歯根を支えている骨が溶けてしまい歯根が露出し、歯を失うこととなります。歯が多く残っている人ほど治療費が安く、歯数が多いほど、あるいは義歯による機能回復をするほど、認知症になりにくいという研究データが出ています。

60歳で24本、80歳で20本の歯を残すことで、健康で活力ある豊かな人生を実現できるように、歯の検診と健康に留意したいものです。

義歯未利用者	義歯利用者
認知症リスクは、20本以上歯が残っている人の	ほとんど認知症リスクが低い
1.9倍	4割抑制

## 九. 今後の議会日程

### (1) 第4回定例会

第4回定例会は、11月22日告示、開会は11月29日となります。会議は全て午前10時開始です。日程表の黄色の会議は、石岡市議会ホームページから本会議を生中継で視聴できます。是非、臨場感あふれるやり取りにご注目ください。録画放映は、会議後10日前後で視聴可能になる見込みです。こちらは繰り返し視聴できます。開会日に議決する議案が2件あり、閉会日には追加議案1件が予定されています。

### 第4回定例会日程

月日	曜日	会議内容
11月29日	火	開会
30日～12月4日		休会
12月5日	月	一般質問
12月6日	火	一般質問
12月7日	水	一般質問
12月8日	木	議案質疑
12月9日	金	文教厚生委員会
10日・11日		休会
12月12日	月	総務企画委員会
12月13日	火	産業建設委員会
12月14日	水	複合文化施設建設特別委員会
12月15日	木	議会運営委員会
12月16日	金	採決・閉会

### (2) 議会報告会

石岡市議会では、「開かれた議会」を目指し、議会報告会を実施しています。今年度は令和5年1月30日（八郷総合支所1階会議室）及び31日（本庁舎メロディアスホール）に、いずれも午後7時開始で実施する事を決定しました。

報告案件は「複合文化施設整備事業」です。これまで、常任委員会毎、内容を取りまとめ報告していましたが、今回は初めてテーマを一つに絞って市民と意見交換することになります。

議会内で賛否が分かれている案件ですので、どのような報告会になるのか楽しみでもあります。